

デジタル田園都市国家構想交付金事業 評価検証 令和6(2024)年度

官民連携の伴走型サポートによる移住・定住促進センター設置事業

タイプ	事業類型	単独/広域	事業期間	予算事業名
地方創生推進タイプ	横展開型	単独	5年	【資料3】No.45 移住定住推進事業

事業概要

起業希望者・店舗開業希望者などをメインターゲットとする「移住・定住に関するワンストップ相談窓口」を設置するとともに、移住コーディネーターを配置し伴走型の相談支援を実施。きりゅう暮らしの魅力を伝えるウェブサイトや、交流人口・関係人口の拡大に向けたイベント等の開催により、本市の魅力を戦略的に発信し、つながりを創出する。

取組内容

「桐生市移住支援フロント むすびすむ桐生」(以下、むすびすむ桐生)において、以下の取組を行った。

- ①相談対応

 - ・移住コーディネーターを配置
 - ・電話、メール、オンライン、対面による相談
 - ・補助金等の案内 等
- ②魅力発信

 - ・ポータルサイトの運営
 - ・Instagramの開設
 - ・広告の掲載 等
- ③つながりの創出

 - ・関係人口・交流人口の拡大を目的とした取組の実施
 - ・移住・定住イベント等への出展 等

事業費(桐生市分)

年度	交付対象事業額(千円)	交付額[1/2](千円)
R5	24,168	12,084
R6	24,384	12,192
R7(予定)	26,383	13,191
R8(予定)	14,860	7,430
R9(予定)	14,860	7,430

KPI

KPI	単位	基準値	2023	2024	2025	2026	2027
			1年目	2年目	3年目	4年目	5年目
社会増減数	人	-560	-480	-390	-300	-200	-90
			-105	-117			
本事業によって 店舗開業・起業・ 就農を伴う移住 をした人数	人	0	3	9	15	17	20
			1	3			
移住・定住に関 する相談件数	件	128	240	290	310	320	330
			396	583			
ポータルサイトへ のアクセス数	回	0	29,000	46,000	48,000	50,000	53,000
			42,457	52,419			

※上段:目標値、下段実績値

今後の改善点・見直しの方向性

昨年度に引き続き、総合指標である社会増減数、相談件数、ポータルサイトへのアクセス数は目標を達成できたが、本事業によって店舗開業・起業・就農を伴う移住をした人数は達成できなかった。

つながりを創出するための取組においては、首都圏をはじめとする市外からの参加者が一定数確保できていることから、メインターゲットとする起業希望者・店舗開業希望者などにより訴求する取組として、リノベーションワークショップを軸に取組むこととする。

多様な交流が生み出す地域の活性化

タイプ	事業類型	単独/広域	事業期間	予算事業名
地方創生推進タイプ	横展開型	広域 ※群馬県(代表)、東吾妻町との連携事業	3年	【資料3】No.26「伝統産業保護育成事業」 【資料3】No.28「地場産業振興センター事業」

事業概要(全体)

群馬県は、人口減少・高齢化が進むとともに、産業のデジタルシフトにより新たな価値の創出が不可欠となっている。その中で、自然豊かな群馬県の強みである観光産業や農畜産物組が求められている。そのために、誰もが集い、交流し、にぎわいが創出さ等を生かした新たな価値を創出し、将来にわたっても県内人口を維持し、県内所得を成長させる取れる場所を県庁舎31階に新たに設け、新たな価値を生み出し、この波及効果を全県にもたらすことで、群馬県の持続的な成長を目指す。

取組内容(桐生市実施分)

【需要開拓事業】

新商品開発及び展示会開催・出展により、桐生製品を積極的にPRし、需要の開拓を図る。

- 桐生織物宣伝事業
- 桐生織物新製品開発事業
- 国内向け婦人服地新製品開発事業並びに発表会

【桐生テキスタイルプロモーション開催事業】

繊維産地桐生の活性化及び発展を目的に専門家を招聘して総合開発指導を仰ぎ、大消費地・東京にて展示会を行い、顧客の拡大と安定化を図る。

- 展示発表会
開催日：令和7年3月
会 場：恵比寿(東京都渋谷区)

事業費(桐生市分)

年度	交付対象事業額(千円)	交付額[1/2](千円)
R5	151,220(12,322)	75,610(6,161)
R6	151,220(12,322)	75,610(6,161)
R7(予定)	151,220(12,322)	75,610(6,161)

KPI

KPI	単位	基準値	2023	2024	2025
			1年目	2年目	3年目
一人あたり県民所得	万円	329.80	340	350	360
			318.7	未公表	
県庁舎31階来場者数	人	0	10,000	30,000	60,000
			140,710	184,146	
県庁舎31階から発信される広報の取組件数	件	0	52	109	171
			151	429	
県庁舎31階マルシェ&キッチンへの出展件数	件	0	100	120	140
			177	574	

※群馬県実施事業に関するKPI

※上段：目標値、下段実績値

今後の改善点・見直しの方向性(桐生市分)

繊維産地桐生で製造された製品の需要開拓に結び付く、桐生織物協同組合の「需要開拓事業」を継続して支援する。

産地企業の商品開発力・企画提案力を強化しつつ、産地全体として国内外へ情報発信し、顧客の拡大・安定化を図る桐生地域地場産業振興センターの「桐生テキスタイルプロモーション事業」を継続して支援する。

これら取組にあたっては、トレンドの勉強会など市場の最新ニーズを把握し、商品開発につなげていくほか、展示では、統一コンセプトの下でそれぞれの技術・強みを活かした商品展示を行い、地域ブランド化や企業価値向上につなげてまいりたい。

日本最先端クラスのデジタル県推進事業

タイプ	事業類型	単独/広域	事業期間	予算事業名
地方創生推進タイプ	先駆型	広域 ※群馬県(代表)との連携事業	5年	【資料3】No.229 デジタルクリエイティブ人材育成事業事業

事業概要(全体)

- ・産業のデジタル化とデジタルクリエイティブ人材の育成等により、日本最先端クラスのデジタル県を目指す
- ・国際的に評価の高いアルメニアのTUMOセンターを、アジアで初めて、群馬県に整備する
- ・TUMO Gunmaとして、群馬県独自の最先端の教育プログラムを提供し、デジタルクリエイティブ人材を育成する
- ・デジタルやクリエイティブな取組を招致し、デジタルクリエイティブ産業の集積を図る

取組内容(桐生市実施分)

- ・tsukurun KIRYUの運営
小中高生年齢のうちからデジタル創作を体験できる施設「tsukurun(ツクルン)KIRYU」を設置し、楽しみながらデジタル技術に触れる機会を創出し、世界に羽ばたく人材の育成を目指す
- ・デジタルリテラシー向上に係るイベントや講座の開催
デジタル化のメリットを享受できるよう、デジタルリテラシーの向上のためのイベント等を実施する。

事業費(桐生市分)

年度	交付対象事業額(千円)	交付額[1/2](千円)
R6	199,090(22,974)	99,545(11,487)
R7(予定)	579,497(29,489)	289,748(14,744)
R8(予定)	511,522(26,412)	255,761(13,206)
R9(予定)	511,522(26,412)	255,761(13,206)
R10(予定)	511,522(26,412)	255,761(13,206)

※()書きは桐生市分の事業費及び交付額

KPI

KPI	単位	基準値	2024 1年目	2025 2年目	2026 3年目	2027 4年目	2028 5年目
地域へのUIJ ターン就職者 数	人	1,600	1,800 1,674	1,900	2,000	2,000	2,000
デジタルクリ エイティブ企業 の進出	社	0	4 1	4	4	4	4
共創プロジェ クト組成数	件	0	6 10	6	6	6	6
年間利用者数	人	0	0 2,027	4,340	4,520	8,460	9,400

※群馬県実施事業に関するKPI

※上段:目標値、下段実績値

今後の改善点・見直しの方向性(桐生市分)

「tsukurun KIRYU」の会員については、小学校高学年が多く占めているため、中学生及び高校生の新規会員獲得が早急の課題である。また、地元のクリエイターによるデザイン講座を開催するなど、「ものづくりのまち」である強みを生かした事業展開を図ってまいりたい。

書かない窓口整備事業

タイプ	事業類型	単独/広域	予算事業名
デジタル実装タイプ	TYPE I	単独	【資料3】No.225 書かない窓口整備事業

事業概要

各種手続きにおいて、窓口ごとに氏名、住所等を何度も申請書へ記入させている状況であり、市民の負担及び窓口の混雑につながっている。ライフイベントごとの手続きやマイナンバー更新手続きにおいて、マイナンバーカードや運転免許証から情報を読み取り、申請書へ自動出力するシステムを導入し、申請者の利便性向上及び業務効率化による窓口の混雑緩和並びにサービスレベルの平準化を図る。これにより、誰一人取り残さない、書かない・迷わない・待たない窓口を実現する。

取組内容

- 【申請書作成支援システム】
- ・マイナンバーカードや運転免許証の本人確認書類の表面記載事項を読み取り、申請書へ自動入力する機能
 - ・申請者からの聞き取りにより申請書を作成する機能
 - ・ライフイベントに合わせた必要な手続きを示してくれるナビゲーション機能
 - ・複数申請書を一括で作成する機能
 - ・窓口横断的なワンスオンリー機能
 - ・スマートフォンで事前申請書作成機能

【申請書作成支援システム(マイナンバー手続き用)】
マイナンバーカードから情報を読み取り、電子証明書更新申請書等に氏名/住所等の必要事項を出力し、申請者自身で記載する項目を一部省略可能とする

事業費

年度	交付対象事業額(千円)	交付額[1/2](千円)
R6	16,188	8,094

KPI

KPI	単位	2024	2025	2026
		1年目	2年目	3年目
利用割合	%	37.5	89.0	90.0
		19.9		
利用割合 (マイナンバー手続き用)	%	39.5	94.0	95.0
		43.7		
利用者満足度	ポイント	3.0	3.5	4.0
		4.4		
利用者満足度 (マイナンバー手続き用)	ポイント	3.0	3.5	4.0
		4.0		

※上段:目標値、下段実績値

今後の改善点・見直しの方向性

(書かない窓口システム)
窓口で職員が聞き取って申請書等を作成するため、利用者の負担が軽減される一方で、職員側の負担が増加している。今後の職員の負担軽減について、国が進める基幹システムの標準化対応も踏まえて、どのような連携方法がベストなのか検討していく。
(マイナンバー手続き用)
対応していない帳票を追加して、利用者の更なる利便性向上に努める。

おくやみワンストップ窓口事業

タイプ	事業類型	単独/広域	予算事業名
デジタル実装タイプ	TYPE I	単独	【資料3】No.226 おくやみコーナー窓口事業

事業概要

故人が死亡後に必要となる手続は多岐にわたり、遺族に多くの負担を強い
る状況となっていることから、死亡手続を行う遺族に対し、専用窓口を設ける。
システム導入により、死亡者や遺族の状況に応じた必要手続を抽出して漏れ
なく案内するとともに、可能な手続は窓口でワンストップ対応として遺族が手
続きする窓口を最小化し、遺族の負担軽減及び利便性向上を図ることで、遺
族の心に寄り添ったやさしい窓口を実現する。

取組内容

【おくやみワンストップサービス】

- ・専用受付窓口の設置
- ・事前予約の受付
- ・各種申請書の作成補助
- ・関係各課への案内

【支援ナビシステム】

- ・必要手続の抽出
- ・手続一覧表の作成

事業費

年度	交付対象事業額(千円)	交付額[1/2](千円)
R6	674	337

KPI

KPI	単位	2024	2025	2026
		1年目	2年目	3年目
利用件数	件	600	900	1,200
		1,097		
利用者満足度	ポイント	2.5	3.0	4.0
		4.8		
おくやみ手続所要時間	分	80	70	60
		43		

※上段：目標値、下段実績値

今後の改善点・見直しの方向性

利用件数及び利用者満足度がともに高い現状を維持しつつ、今後さらなる効率
化を図るため、おくやみ窓口で完結する手続きを増やせるよう調整する。

さらにご遺族の意見や要望をおくやみコーナーに反映させるため、アンケート調
査を継続し、意見や要望があった場合には、担当内で取り入れの可否を検討し、関
係各課と調整し、可能な限りおくやみコーナーに反映させる。

桐生が岡公園拠点整備計画

タイプ	事業類型	単独/広域	事業期間	予算事業名
地方創生拠点整備タイプ	横展開型	単独	2021(1年間) ※5年間評価を実施	桐生が岡動物園整備事業 ※2021年度で事業終了

事業概要

桐生が岡動物園内の、現在使用されていないゾウ舎の跡地に、全国唯一となる1階と2階の両階から立体展示を観覧可能なレッサーパンダの獣舎を建設して集客力の向上を図るとともに、現在同時進行で進める重伝建地区間の導線整備や、重伝建公開施設整備、空き店舗活用創業者への支援等と一体的に進めることで、人の流れを創出し、観光客の滞在時間を増加させ、地域への経済波及効果を高める。

獣舎は、様々な角度から間近で生体が観察できるよう、吹き抜けスペースを活かした高さのある2階建てにし、頭上に吊り橋をかけてレッサーパンダを行き来させる立体展示を行う。2階部分は、レッサーパンダの観覧ホールやトイレと授乳室を備えた休憩所など、多目的スペースとする。



事業費

総事業費(円) ※交付金対象以外含む	交付金額(円)
170,104,000	83,121,000

KPI(重要業績評価指標)

KPI		2019 年度	2021 年度	2022 年度	2023 年度	2024 年度	2025 年度
観光入込客数 (人)	目標値	4,143,000 (基準)	4,143,000	4,231,000	4,251,000	4,271,000	4,291,000
	実績値		2,501,900	3,306,157	4,099,731	4,063,875	
動物園入園者 数(人)	目標値	327,940 (基準)	327,940	349,940	354,940	359,940	364,940
	実績値		234,980	413,820	384,920	348,290	
遊園地遊器具 延利用者数 (人)	目標値	875,381 (基準)	875,381	941,381	956,381	971,381	986,381
	実績値		664,044	1,113,950	1,191,844	1,100,157	

今後の改善点・見直しの方向性(桐生市分)

令和4年(2022)年3月25日から3頭のレッサーパンダの一般公開が始まり、多くの来園者から喜ばれているが、動物園入園者数は目標値を下回った。しかし、動物園に隣接する遊園地の遊器具延利用者は目標値を上回った。新型コロナウイルス感染症が5類に移行し、社会経済活動が回復してきている中、動物園単独の「桐生が岡動物園公式アカウント(Facebook・Instagram)」を作成し、情報発信を積極的に行い、更なる集客力の向上に努める。また、桐生市重伝建地区公開活用施設が完成し、重伝建地区間との導線整備も進んでいることから、桐生が岡公園と重伝建地区間の人の流れの創出を図り、市内の滞在時間を増加させて地域への経済波及効果を高めてまいりたい。

【参考】群馬県移住支援・マッチング支援事業

タイプ	事業類型	単独/広域	事業期間	予算事業名
地方創生推進タイプ	移住・企業・就業型	広域 (群馬県【代表】、県内全市町村)	2019~2024 (6年間)	【資料3】事業No.45 移住定住推進事業

事業概要

国の地方創生移住支援事業を活用し、地方の人口減少対策と担い手不足の解消を目的として、東京圏から地方に移住して就業・起業する方に、移住支援金を支給するもの。

国1/2、県1/4、市1/4の財政負担で実施。

【交付額】

- ・単身世帯：60万円
- ・2人以上世帯：100万円
- ・18歳未満の世帯員1人につき100万円まで加算可能
(令和4年度は30万円を加算)



令和6年度実績(桐生市分)

○ 交付件数・交付額

年度	交付件数(件)	交付額(円)
R1	1	1,000,000
R2	1	1,000,000
R3	4	3,200,000
R4	9	7,600,000
R5	7	9,300,000
R6	12	18,600,000

(参考)群馬県全体：R5…259件、R6…301件

今後の改善点・見直しの方向性(桐生市分)

昨年度の課題を踏まえ、制度周知と問い合わせ対応を丁寧に行った結果、令和6(2024)年度は交付件数が増加した。店舗開業等を行う方を支援できるよう追加した関係人口要件についても、1件対象となった。

令和7年度は、関係人口要件を拡充するとともに、継続した丁寧な相談対応で、交付件数を確保するとともに、本市への移住を促進してまいりたい。

○ 令和6(2024)年度の内訳

交付件数 (件)	区分			
	世帯内訳 (件)	人数 (人)	18歳未満 加算 (人)	担い手要件 (件)
12	単身6 世帯6	28	9	テレワーク11 関係人口1